

12月7日  
弟子屈中学校の2年生が弟子屈高校の授業を体験！  
第2回みんなの弟高デーを開催



弟子屈高校(宮崎 円校長)では、弟子屈中学校の2年生を対象とした「第2回みんなの弟高デー」を12月7日、同校で開催しました。これまでは中学3年生を対象に行っていた「みんなの弟高デー」ですが、今回はじめて中学2年生を対象に実施し、35人が参加。早まる進路選択の参考にとこの時期に開催しました。今回は、同校の教諭による理科と社会の授業が行われ、理科の授業では、静電気の正体と性質について学び、実験などを行い、高校での生活の一端を体験しました。

実験器具にも興味しんしん

12月7・13日  
12月の恒例行事  
幼稚園・保育園で楽しい餅つき



ついたお餅をきな粉もちにお母さんといっしょに(おひさま保育園) (摩周丘幼稚園)

昔ながらの伝統行事である餅つきが12月7日、おひさま保育園(廣田勝彦園長)で、13日には、摩周丘幼稚園(鈴木光榮園長)でそれぞれ行われました。餅つきは、毎年行われている恒例行事となっています。代わる代わる一生懸命に餅をつき、見ている園児からは「よいしょ、よいしょ」とかけ声が上がリ、園のみんなで協力して、立派な餅がつきあがりました。

12月12日  
悲惨な交通事故をなくそう  
平成30年度 弟子屈町交通安全大会



町交通安全運動推進協議会(会長:徳永町長)と町交通安全協会(村岡幸雄会長)による平成30年度 弟子屈町交通安全大会が12月11日、町公民館で行われました。交通事故被害者への黙とうの後、町交通安全運動推進協議会表彰と優良運転者表彰で合わせて9人の皆さんと、交通安全功労団体表彰の表彰が行われ、弟子屈警察署の佐藤英昭交通係長による「交通事故防止対策について」の講演などが行われました。来賓の弟子屈警察署 林隆俊署長は、あいさつで道・町内の死亡事故数に触れ、安心・安全な町を目指すと話しました。

今後とも交通安全を心がけて

12月8日  
屈斜路地区和琴公民館事業  
蕎麦打ち体験を実施



そばの「水回し」にも挑戦

屈斜路地区和琴公民館事業として「蕎麦打ち体験」が12月8日、屈斜路研修センターで行われました。同事業では、毎年屈斜路研修センターでさまざまな体験を行っており、今年はそば打ち体験が行われました。地域のそば打ち名人を招き、地域の方をはじめ、町内から44人が参加。名人の指導の下、今年採れたキタノマシウのそば粉を使い、一生懸命そばを打ちました。1年生から参加している児童は「今年で5回目、今までで一番上手に作りたい」と張り切っていました。センター内はそば粉のいい香りに包まれていました。

点灯の瞬間には歓声も

12月19日  
地方創生の実現に向けて  
あいおいニッセイ同和損害保険(株)と協定を締結



町とあいおいニッセイ同和損害保険(株)(北海道支店 久保大支店長)との間で「弟子屈町とあいおいニッセイ同和損害保険株式会社との地方創生に関する連携協定」の締結式が12月19日、町役場で行われました。この協定は、それぞれが有する資源を有効に活用し、弟子屈町民の誰もが安心して快適に暮らせるまちづくりに協働で取り組むために締結されるもので、締結にあたって久保支店長は「協定を通し、地域創生のため、さまざまな分野で弟子屈町に貢献していきたい」と話していました。

11月20日  
税に関する高校生の作文コンクール  
新木七海さんが釧路税務署長賞を受賞



賞状を手にする新木さん(右)

国税庁主催の税に関する高校生の作文コンクールで、弟子屈高校1年の新木七海さんの「授業で見た税と日本」が釧路税務署長賞を受賞し、11月20日に同校で表彰式が行われました。同コンクールは、税の理解を深めてほしいと1962年から毎年行われているもの。今年も釧路税務署管内の4校から327点の応募が寄せられました。受賞した新木さんは、「中学と高校の政経の授業で税の仕組みや使われ方を学んだ。消費税など、税金は身近なものでもあるので、自分も働くようになったらきちんと納めたい」と話していました。

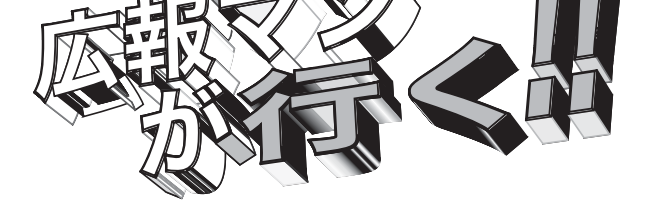
ひと針ひと針と針をいねいに

和琴小学校(齋藤超校長)で12月1日、土曜授業「アイヌ文化体験教室」が行われました。同校では総合的な学習の時間を活用して、土曜日に様々な体験授業を実施しています。この日は同地域に住む武田さん、戸塚さん、堂山さんの3人を講師に迎え、アイヌ文様の刺繍を体験しました。屈斜路コタンでは、チェーンステッチのみを使って装飾するチヂリと呼ばれる民俗衣装が主流。同様の手法で刺繍を施し、1、2年生はコースター、3～6年生はティッシュ入れを作成しました。

まあるくこねこね

南弟子屈自治会(小澤重則会長)の餅つきが12月2日、旧昭栄小学校で行われました。旧昭栄小学校では閉校以前から餅つきが行われていましたが、閉校した今も同自治会員の皆さんが集まり毎年開催されています。今年も自治会員のほかに、同校を利用している町内の親子も巻き込まれ、地域の方に教えてもらいながら子どもたちも一緒に餅をついて丸め、お雑煮、おしるこのほか、ずんだ、きなこ、大根おろしをトッピングして食べました。

カメラスケッチ  
広報が行く!!



このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐにかかけます。お気軽にご連絡ください。

まちづくり政策課広報統計係 ☎ 4 8 2 - 2 9 1 3 (課直通)

11月29日  
「人権」ってなんだろう？  
弟子屈小学校5年生が人権教室で学ぶ



積極的に意見を出し合う

釧路人権擁護委員協議会主催の人権教室が11月29日、弟子屈小学校(中原英雄校長)で開催されました。同校での人権教室は今年で7回目。講師に鶴居村人権擁護委員の宇野健二さん、サポート役に弟子屈町人権擁護委員の日下部眞理子さん、金井典子さんを迎え、いじめを題材に「幸せに生きる権利」について考える講義が行われ、5年生が受講しました。児童らはいじめをなくするために必要なことについて考え、その後のグループ学習では話し合いや多数決などで工夫してグループの意見をまとめ、発表しました。

表彰状を手にも小澤さん(右)

長年、町教育委員長などを歴任された小澤重さんが2018年度文部科学大臣表彰地方教育行政功労者に選ばれ12月3日、伝達式が町役場で行われました。小澤さんは平成9年に町教育委員に任命され、平成16年10月から12年と4カ月間に渡り教育委員長に在任。平成29年2月から退任までのおよそ10カ月間は教育長職務代理者として教育行政の重責を担いました。伝達式では町長から小澤さんに賞状が渡されました。小澤さんは「身に余る光栄。子どもたちが健やかに元気に育ってもらうのが一番の願い」と話していました。